

## (2) 教科書通り SWOT の順番で進める愚

SWOT 分析は、確かに「S=強み」「W=弱み」「O=機会」「T=脅威」だから、検討もその順番で行う人もいる。

多くの場数を踏んできた経験でこの世界での専門家の立場から言えば、その順番で進めるのは賛成しない。

何故なら、最初に内部要因を言うのではなく、先に「外部環境」から検討した方が、後で辻褄が合うからだ。

前述したように、「機会」に「強み」をぶつけるのである。

「強み」に「機会」をぶつけるのではない。

「機会」に「強み」をぶつける事で、マーケットの動きに貢献する自社の「強み」を「積極戦略」で導く事になり、基本的に『マーケットイン(お客様都合)』の発想である。

もし、これが自社の「強み」に合う「機会」を見つけるとなると、かなり限定されてくるし、『プロダクトアウト(製造者都合)』の感覚になりかねない。

そこで基本的な検討順番は

第 1 に、「脅威」…いかに環境が悪いかをたくさん議論しても意味がないので、短時間で。

第 2 に、「機会」…一番のポイントだから、時間を掛けてじっくりと

第 3 に、「強み」…「機会」に使える潜在的・顕在的「強み」を多方面から時間を掛けて行う

第 4 に、「弱み」…ウイークポイントは誰でもわかっている事なので、あまり時間を取らない

特に「機会」と「強み」が隣同士なのがコツである。

ここで多くの時間を費やすのである。

もっと言うなら「積極戦略」のみの検討なら「機会」と「強み」だけでも構わない。

私は最近、「機会」「強み」を十分行ってから、申し訳ない程度に「脅威」「弱み」に時間配分している。

すると、第 1 に「機会」

第 2 に「強み」

第 3 に「脅威」

第 4 に「弱み」の順番になる。